「文化と経済の好循環」の創造について

1 取組の経緯

- H29. 12 国が「文化と経済の好循環」を実現するための「文化経済戦略」を策定
H30. 3～ 県議会での議論を経て、「文化と経済の好循環」に向けた方向性を検討する
庁内タスクフォース（関係各課）を設置・検討
⇒タスクフォースでの検討結果を踏まえ戦略の方向性（案）を策定

<戦略の基本的方向性（案）>

○「あわ文化」の発信による「徳島ファン」の獲得

県民主役の文化芸術活動の成果を国内外へ発信し、あわ文化のプレゼンス向上や「徳島ファン」の拡大を推進

○文化芸術の観光資源化による「稼ぐ地域」の創造

未来を志向した伝統文化や文化財の保存と活用をはじめ、インバウンドの受入れを拡大する観光地域づくりを推進

○新たな文化の創造による「付加価値」の創出

最先端技術との融合による新機軸の文化芸術活動のほか、イノベティブな発想による新たな需要・付加価値を創出

○地域の生業のブランド化による「新たな経済システム」の構築

地域の生業（暮らし）を文化として捉え、更なる経済効果の発現へ、エシカル消費を活用した社会・環境に優しい新次元の消費を推進

目指すべき姿

文化と経済の好循環による
「徳島版SDGs」の実装へ

2 県計画（案）への反映状況（現時点）

- 「未知への挑戦」とくしま行動計画（案）
県の総合計画として、「文化と経済の好循環」の観点で幅広い関連施策を盛り込む。
- 「徳島県文化芸術推進基本計画（案）」
「施策の展開」・「文化と経済の好循環」、「あわ文化ブランドの創出（発信）」等
- 徳島県観光振興基本計画（第3期）（案）
「基本施策」・「世界遺産登録への取組み」、「文化資源の観光産業への開花」等